

みんぱくリポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

土方久功主要業績及び関連文献

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-12-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00009302

第Ⅱ部

関連資料・附論

土方久功主要業績及び関連文献

清水 久夫 編

1. 土方久功・自著文献

1.1 全集・選集

〈邦文〉

- 1990 『土方久功著作集 第1巻』「パラオの社会と生活」三一書房（解説・青柳まちこ「パラオの社会と生活について」）。
- 1991 『土方久功著作集 第2巻』「パラオの神と信仰」三一書房（解説・青柳まちこ「パラオの神と信仰について」）。
- 1993 『土方久功著作集 第3巻』「パラオの神話と伝説」三一書房（解説・大林太良「パラオの神話伝説について」）。
- 1992 『土方久功著作集 第4巻』「サテワヌの神と社会」三一書房（解説・牛島巖「土方久功とサタワヌ島」）。
- 1992 『土方久功著作集 第5巻』「サテワヌの民話」三一書房（解説・鳥羽修郎「サテワヌの民話」）。
- 1991 『土方久功著作集 第6巻』「青蜥蜴の夢／文化の果にて」三一書房（解説・谷川健一「全人としての土方久功」）。
- 1991 『土方久功著作集 第7巻』「流木—孤島に生きて」三一書房（解説・須藤健一「民族誌家土方久功と『流木』」）。
- 1993 『土方久功著作集 第8巻』「サテワヌ島日記／ノート」三一書房（解説・宇佐美英治「土方久功の彫刻」）。

〈欧文〉

- 1993 Endo Hisashi (ed.), *Collective Works of HIJIKATA HISAKATSU: Society and Life in Palau*, Sasakawa Peace Foundation.
- 1995 Endo Hisashi (ed.), *Collective Works of HIJIKATA HISAKATSU: Gods and Religion of Palau*, Sasakawa Peace Foundation.
- 1996 Endo Hisashi (ed.), *Collective Works of HIJIKATA HISAKATSU: Myths and Legends of Palau*, Sasakawa Peace Foundation.
- 1997 Sudo Ken'ichi (ed.), *Collective Works of HIJIKATA HISAKATSU: Driftwood: The Life in Satawal, Micronesia*, Sasakawa Peace Foundation.

1.2 単行書

〈民族学〉

- 1940 『過去に於けるパラオ人の宗教と信仰』南洋群島文化協会。
- 1940 『ヤップ島離島サテワヌ島の神と神事』南洋群島文化協会。
- 1942 『パラオ島民の部落組織』南洋群島文化協会。
- 1942 『パラオの神話伝説』大和書房（1985年、解説・大林太良「パラオの神話伝説について」、谷川健一「全人としての土方久功」、年譜〈丸山尚一編〉を付して、三一書房より復刊）。
- 1943 『流木』小山書店（1974年、『流木 = ミクロネシアの孤島にて』と題して、未来社より復刊）。
- 1953 『サテワヌ島民話』三省堂（1975年、『覆刻・サテワヌ島民話—ミクロネシアの孤島にて—』と題し、鳥羽修郎の解説を付して、アルドオより復刊）。

- 1984 『ミクロネシア＝サテワヌ島民族誌』未来社（校訂・解説 須藤 健一）。
- 〈詩集・随筆集〉
- 1953 [1991] 『文化の果にて』龍星閣（『著作集』第6巻に収録）。
- 1955 『非詩集ボロ』大塔書店。
- 1956 [1991] 『青蜥蜴の夢（お砂糖のように甘い南島の……）』大塔書店（『著作集』第6巻に収録）。
- 1965 『旅・庭・昔』自家出版。
- 1966 『鶴と共に（1955-1956）』自家出版。
- 1978 『土方久功遺稿詩集』草原社。
- 1982 『土方久功詩集 青蜥蜴の夢』草原社（『非詩集ボロ』、『青蜥蜴の夢』、『旅・庭・昔』、『鶴と共に』を収録。ただし、『旅・庭・昔』、『鶴と共に』の一部は収録せず）。
- 〈絵本〉
- 1963 大塚勇三・再話、土方久功・画『おおきなかぬ一』福音館書店。
- 1963 ハロルド・クーランダー & ウルフ・レスロー作、渡邊茂男・訳、土方久功・画『山の上の火』岩波書店。
- 1965 『ゆかいなさんぽ』福音館書店。
- 1970 『ぶたぶたくんのおかいもの』福音館書店。
- 1975 『おによりつよいおんまーい』福音館書店。

1.3 定期刊行物

- 〈雑誌〉
- 1923 「修学旅行に関する雑稿」『東京美術学校交友会月報』（第22巻第3号）。
- 1927 「伊藤薰朔の舞台美術展」『アトリエ』（7月号）。
- 1940 「南洋の鳥景」『野鳥』（第7巻2号）。
- 1940 「群島代用食是々非々」『南洋群島誌』（第6巻6号）。
- 1940 「禿山」『南洋群島誌』（第6号7号）。
- 1940 「南洋の女」『オール女性』（第7巻10号）。のち、『青蜥蜴の夢』（草原社）に収載）。
- 1940 「南洋の伝説・小ウヘリヤッシンググ」『大阪パック』（第35巻12号）。
- 1941 「パリー島の土人の木彫」『野鳥』（第85号）。
- 1941 「扉（挿絵）」、「バラオの踊り」（『南洋群島』（第7巻6号）。
- 1941 「バラオ島民の自然観」（『南洋群島』（第7巻7号）。
- 1941 「扉（挿絵）」、「バラオ島民の遊戯」（『南洋群島』（第7巻8号）。
- 1941 「バラオ島民の結婚・離婚」『南洋群島』（第7巻9号）。
- 1942 「バラオ島民の暦」『南洋群島』（第8巻1号）。
- 1942 「バラオ島貨」（『青とかげの夢』より）『南洋群島』（第8巻2号）。
- 1954 「サテワヌ島雜記—信仰と踊りの珊瑚礁島—」『海洋文化』（1954年1月号）。
- 1955 「動かぬ表情・面について」『美術手帖』（第97号）。
- 1955 「芸術とデーモン」『みづゑ』（第601号）。
- 1955 「南洋のトイレ」『毎日グラフ』（10月19日号）。
- 1958 「三河大工『杉浦佐助』の彫刻」『民芸手帖』（9月号）。
- 1958 『知友交歓』「のろまと気長」『美術手帖』（第148号）。
- 1959 「加工された人間の顔」『アトリエ』（第384号）。
- 1959 「南方土民彫刻に生き抜く」『トーテム』（第25号）。
- 1960 「チチリカ」『野鳥』（第25巻2号）。

- 1960 「プリミティーブ・アート」『三彩』(第129号)。
- 1960 「パラオの石神」『西東』(第5号)。
- 1961 「鳥取り」『野鳥』(第26巻1号)。
- 1961 「手ぐすねの贅沢さ」『別冊みづゑ 特集・アフリカの彫刻』(第29号)。
- 1961 「原始芸術のみなもと」(1)(2)(3)『小原流挿花』(10~12月号)。
- 1963 「鳥たちにふね」『太陽』(第1巻1号)。
- 1963 「かますとやどかり」『太陽』(第1巻2号)。
- 1963 「浜に題す」『経済界』(8月号)。
- 1964 「鶴」『野鳥』(第228号)。
- 1965 「鶴三題」『野鳥』(第229号)。
- 1965 「南洋の花」『現代挿花未生流』(第11号)。
- 1966 「島」『アルプ』(第102号)。
- 1966 「エラツタカオの猫」『日本美術』(第38号)。
- 1967 「南の島で悪口が踊る」『ことばの宇宙』(第2巻8号)。
- 1968 「今の物は本気でやれない」『日経ジャーナル』(4月号)。
- 1968 「追いつめられたところで」『美術手帖』(7月号)。
- 1982 「パラオの小話」『椰子の実』(第5号)。
- 1970 「南洋島民の裸体周辺」『日本美術』(第63号)。
- 1970 「わが心燃ゆ」(『野鳥』(第283号))。
- 1973 「ヘレン島」『野鳥』(第7巻5号)。
- 1973 「葡萄のマーク他」『悲劇喜劇』(6月号)。
- 1974 「僕のミクロネシア」『どるめん』(第2号)。
- 1976 「パラオ・サテワヌむかしばなし」『文春デラックス』(8月号)。
- 1979 「詩四篇」,「幼年」,「ヤニュー物語」,「修学旅行に関する雑稿」,「金沢の旅」,「敦ちゃんとの旅(抄)」,「ロタ日記(抄)」,「サテワヌ島における結婚・離婚・姦通」『同時代』(第34号)。
- 「パラオ島民の伝説口碑と『教へ』」『南洋教育』(第7巻3号)。

〈新聞〉

- 1954 「パラオ・ホヤホヤ記」『共助義会新聞』(1月1日)。
- 1956 「お金のいらない国へ……」『東京新聞』(9月3日)。
- 1957 「踊り疲れりやお正月—南洋群島よいところ—」『新夕刊』(1月3日)。
- 1959 「美術・芸談 南洋の土民彫刻から」『東京新聞』(8月11日・夕刊)。
- 1959 「世界は広く」『毎日新聞』(9月22日)。
- 1974 「南海の孤島はいま…」『日本経済新聞』(9月7日)。

1.4 その他

- 1940 「アカラップ 島釣り説話」『群島の島民とその文化』。
- 1949 「トン」『中島敦全集(第3巻)』筑摩書房刊(月報付録,「中島敦全集通信」第3号。『中島敦研究』筑摩書房(1978)に再収載)。
- 1960 「パラオでのトンと私」『中島敦全集(第1巻)』文治堂書店(月報「ツシタラ4」(1960),『中島敦研究』筑摩書房(1978)に再収載)。
- 1968 「青蜥蜴の夢」, 谷川健一編『青春の記録8—わが青春のとき』三一書房, 所収(1991年,

- 未発表原稿を加え、『著作集』第6巻に再収録)。
- 1959 「パラウのクリツム人面石」『世界考古学大系』平凡社「月報5」。
- 1960 「パラオ島の彫り絵」『世界名画全集(第1巻)』平凡社、「月報1」。

2. 土方久功・関連文献

2.1 単行書

- 1981 岡谷公二「治癒の場としての南島—土方久功 中島敦 島尾敏雄一」、『島の精神誌』(思索社) 所収。
- 1984 矢内原伊作「土方久功の彫刻」、『たちどまって考える』(みすず書房) 所収。
- 1989 須藤健一「土方久功」、『オセニア物語』(鹿児島大学南太平洋海域研究センター編、めこん、1989年) 所収。
- 1990 岡谷公二『南海漂泊 土方久功伝』河出書房新社。
- 1990 松居直「土方久功の造形」(『絵本・物語るよろこび』、福武書店、1990年、所収)。
- 1991 清水久夫「南洋の夢とロマン再び、土方久功」《私のナイーブ・アート館》第5巻、『日本一ふるさとの詩』(福田繁雄編、学習研究社) 所収。
- 1994 川村湊「南洋趣味と妣の国」(『南洋・権太の日本文学』、筑摩書房、所収)。
- 1996 川村湊「光と風と青蜥蜴の夢」(『大東亜民俗学』の虚実、講談社選書メチエ、所収)。
- 2001 「ストーリーボード物語」(『地球の歩き方 リゾート319 パラオ』、ダイヤモンド社、所収)。
- 2005 坂野徹「土方久功と『裸の土人』たち」(『帝国日本と人類学者』、勁草書房、所収)。
- 2007 岡谷公二『南海漂蕩—ミクロネシアに魅せられた土方久功・杉浦佐助・中島敦』富山房インターナショナル。

2.2 展覧会図録

- 1979 『南太平洋にロマンをもとめた 土方久功展』小田急百貨店(矢内原伊作「土方久功の彫刻」、谷川健一「全人としての土方久功」、串田孫一「自己確認」、丸木俊、下中邦彦、千田是也、羽根田弥太、村田勝四郎、八幡一郎、びしょっぷ英郎、中村伝三郎、安川加寿子、今岡弘、土方敬子、丸山尚一編「土方久功の歩み」)。
- 1987 『土方久功展』高岡市立美術館(大島清次「ゴーガンと土方久功」、土方敬子「土方久功展によせて」、丸山尚一編「土方久功の歩み」)。
- 1991 『土方久功展 南太平洋の光と夢』世田谷美術館(清水久夫「土方久功—その人と芸術」、須藤健一「民族誌家・土方久功のミクロネシア研究」、作者の詩、年譜・参考文献)。
- 2001 『土方久功 日本+南洋の表現』(館蔵品目録⑤)高知県立美術館(鍵岡正謹「土方久功の人と仕事」、梶光伸「土方久功の表現」、年譜、参考文献)
- 2007 『パラオ—ふたつの人生』世田谷美術館(酒井忠康「あいさつ」/橋本善八「パラオ—ふたつの人生」、「折原澄子さんにきく」/岡谷公二「土方久功とポール・ゴーギャン」/勝又浩「中島敦と南洋」/岩崎清「夢はパラオを」/野田尚稔「美術家・土方久功」/年譜・参考文献)。
- 2008 『美術家たちの「南洋群島』町田市立国際版画美術館(岡谷公二「『南洋群島』三代の系譜」/青木茂「美術家たちの『南洋群島』雑感」/滝沢恭司「美術家と『南洋群島』と日本近代

美術と」／豊見山愛「『南』から『南』へ」／奥野克仁「『南洋群島』以前の南洋群島」／解説・年表・文献一覧)。

2.3 定期刊行物

〈雑誌等〉

- 1954 宇佐見英治「訪問・二人の作家1 土方久功」,『美術手帖』第82号。
- 1955 飯田善国「土方久功論」,『新文明』3月号。
- 1955 岡本太郎「画廊散策」,『塾友』第43号。
- 1962 谷川健一「近代崎人伝 - 土方久功」(上) (中) (下),『日本読書新聞』1136~1138号(1月1日,1月8日,1月15日)。
- 1968 松原豫「人と作品・土方久功」,『日本美術』第49号。
- 1977 土方久顥「黄泉の客人(歌)」「兄は命の限界を知っていたのか」, 山崎泰雄「よき魂を失う」, 一瀬直行「土方さんの聖域」, 青木出郎「土方氏を悼む」, 今岡弘「土方さんの靈 よ安らげく」,『草原』第13号(土方久功追悼特集)。
- 1979 山崎英治「内南洋旅日記から」, 大岡信「『土方久功遺稿詩集』を読む」, 宇佐見英治「土方久功の彫刻」, 安川定男「土方久功と中島敦」, 吉田敦彦「サテワヌ神話のオイディップスとウラノス」, 牛島巖「土方久功とサタワヌ島」, 丸山尚一「土方久功年譜」, 土方敬子「思い出」, 伊藤海彦「懐かしのエ・メ・ラ!」, 土方久顥「回想」, 池崇一「土方さんとの出会いと別れ」, 新井深「土方さん」, 長谷部天翠「土方先生の思い出」, 小川啓司「二十年の間に」, 人見鉄三朗「エイホー先生」,『同時代』第34号。
- 1979 矢内原伊作「彫刻家土方久功」,『郵政』6月号(後,『歩きながら考える』みすず書房, 1982年, 収載)。
- 1980 土方敬子「土方久功の歩んだ道(1)・(2)」,『婦人の友』第74卷3・4号。
- 1981 福田徳樹「土方久功関係資料」,『東京芸術大学芸術資料館昭和55年度年報』。
- 1981-1983 土方敬子「土方久功の足跡(一)～(八)」,『草原』第29~36号。
- 1985 中島洋「パラオのストーリーボード」,『アイランズ』(コンチネンタル航空機内誌) Vol.4, No.4。
- 1986 土方敬子「パラオと土方久功」,『南洋群島協会々報』第154号。
- 1987 中村伝三郎「戦後彫刻と私(7)」,昭和26年度の彫刻界」,『美術の窓』(12月号)。
- 1989 岡谷公二「南海の夢—土方久功の場合」,『夜想』第25号。
- 1989 岡谷公二「南に行った男 土方久功」,『芸術新潮』第475号。
- 1989 浦田義和「中島敦と土方久功—日本近代文学と南」,『沖縄国際大学文学部紀要』(国文学篇) 第18卷第2号。
- 1990 清水久夫「作品解説『南島閑日B』」,『ふれあい』第9号。
- 1990 清水久夫「収蔵品紹介・土方久功『浴』」,『美術館だより』(世田谷美術館) 第14号。
- 1992 岡谷公二「土方久功—南への視線2」,『フロント』第4卷5号。
- 1992 河内紀「土方久功の『南洋』を読む」(上)(中)(下),『調査情報』第403号~第405号。
- 1993 土方敬子「夫 土方久功のこと」,『岩波講座近代日本と植民地月報1』。
- 1993 清水久夫「土方久功—ミクロネシアで花開いたのがやかな感性〈特集・知られざる美術家の肖像〉」,『美術手帖』第665号。
- 1993 清水久夫「土方久功の造形思考—その表現主義的性向をめぐって」,『世田谷美術館紀要』第3号。

- 1993 鍵岡正謹「土佐美術史外伝 ① 土方久功」,『高知県立美術館ニュース』第3集。
- 1997 井出孫六「ミクロネシアの光と風—土方久功」,『年金時代』第363~365号(『国を越えた日本人』風濤社,2003年9月,再収載)。
- 2000 中村茂生「土方久功素描—白樺派を後景として」,『平成12年度高知県立美術館研究紀要』。
- 2002 清水久夫「南洋／エクゾティズム／表象：土方久功をめぐって」,『立命館言語文化研究』第14巻1号。
- 2002 岡谷公二「パラオ好日—土方久功と中島敦」,『新潮』第99巻第5号。
- 2002 岡谷公二「南洋群島の彫刻家 杉浦佐助と土方久功」,『穹+』第7号。
- 〈新聞〉
- 1939 「南洋土民風俗 ①, ②, ③」,『朝日新聞』(7月1・2・3日)。
- 1951 「小道具を作る彫刻家」,『東京新聞』(12月26日)。
- 1953 「原始美 - 土方久功の作品から」,『新夕刊』(9月25日)。
- 1957 剛頑「美術人論断 土方久功—南洋の土人芸術を歌う叙情派」,『東京新聞』(1月29日)。
- 1979 谷川健一「土方久功のこと」,『東京新聞』(4月10日・夕刊)。
- 1979 「土方久功の特集」,『日本経済新聞』(8月24日)。
- 1987 稔田董平「南海の光・土方久功(上)(中)(下)」,『富山新聞』(4月21・28日,5月7日)。
- 1987 「土方久功展によせて—人と作品(1)～(6)」,『富山新聞』(5月7～13日)。
- 1987 大島清次「土方久功展—ゴーガンと土方久功」,『富山新聞』(5月12日)。
- 1987 「土方久功展に寄せて—その原始性と現代」,『富山新聞』(5月19日)。
- 1987 谷口義人「土方久功展に寄せて—原始芸術の象徴性」,『富山新聞』(5月24日)。
- 1987 「土方久功の世界 - 画家・般若一郎に聞く」,『富山新聞』(5月26日)。
- 1987 吉田俊光「土方久功展に寄せて—今も残る日本語」,『富山新聞』(5月31日)。
- 1987 清水久夫「人と芸術—土方久功」,『公明新聞』(6月16日)。
- 1987 清水久夫「土方久功の再発見」,『公明新聞』(5月30日)。

2.4 審会評・紹介

〈雑誌〉

- 1927 光のぶゆき「土方久功氏の個人展覧会」,『アトリエ』第4巻4号。
- 1927 (李)「土方久功氏彫刻展覧会」,『日仏芸術』(4月号)。
- 1955 宇佐見英治「土方久功個展」,『みづゑ』(第599号)。
- 1955 岡本謙次郎「作品紹介・土方久功『蕃首・男』」,『美術手帖』(第97号)。
- 1957 岡本謙次郎「土方久功個展」,『美術手帖』(第122号)。
- 1979 「土方久功遺作展」,『新美術新聞』(第191号)。
- 1986 「土方久功展」,『新美術新聞』(第468号)。
- 1981 「土方久功展—南太平洋の光と夢」,『新美術新聞』(第621号)。
- 1991 「サライ美術館・土方久功展—南太平洋の光と夢」,『サライ』(第3巻22号)。
- 1991 丸木俊「土方久功展—南洋に生きた，“今”浦島太郎」,『月刊美術』(第195号)。
- 1992 池澤夏樹「幸福な人生—土方久功展」,『よむ』(『読書雑誌』みすゞ書房,1999年,再収載)。

〈新聞〉

- 1927 (良夫)「土方氏の個展」,『毎日新聞』(2月27日)。
- 1927 「土方氏の彫刻」,『都新聞』(2月27日)。

- 1927 「個展に見る新人の彫刻 土方久功氏の作」『国民新聞』(2月25日)。
- 1951 「土方久功彫刻展」,『毎日新聞』(4月12日・夕刊)。
- 1953 高村光太郎「現代化した原始美」,『朝日新聞』1月9日(『高村光太郎』第6巻, 1957年, 筑摩書房に再収載)。
- 1953 「日本のゴーガン・土方久功彫刻個展」,『新夕刊』(1月20日)。
- 1953 「土方久功彫刻個展」,『毎日新聞』(1月23日・夕刊)。
- 1955 (隆)「原始的な香氣—土方久功彫刻個展」,『朝日新聞』(4月22日・夕刊)。
- 1955 濱木慎一「土方久功彫刻個展」,『読売新聞』(4月27日)。
- 1957 (隆)「大胆な表現。土方久功」,『朝日新聞』(1月24日・夕刊)。
- 1964 西常雄「個展評」,『アカハタ』(3月28日)。
- 1979 「土方久功遺作展」,『朝日新聞』(4月23日・夕刊)。
- 1987 「土方久功展—あふれる南太平洋の夢とロマン」,『北国新聞』(5月22日)。
- 1991 「和製ゴーギャン・土方久功に光・世田谷美術館で作品展」,『朝日新聞』(11月17日)。
- 1991 「土方久功展—パラオの人々へ愛情と共に」,『東京新聞』(12月5日・夕刊)
- 1991 岡谷公二「土方久功の回顧展—無垢な精神の透明感」,『読売新聞』(12月6日・夕刊)。
- 2008 宝玉正彦「美術と文学の交差試す『パラオ—ふたつの人生』展」,『日本経済新聞』(1月9日)。

2.5 書評・紹介

- 1970 「土方久功さく／え『ぶたぶたくんのおかいもの』」,『図書新聞』(10月24日)。
- 1974 (駒)「流木」,『徳島新聞』(10月5日)。
- 1974 「流木」,『毎日新聞』(10月7日)。
- 1974 「流木」,『読売新聞』(10月7日)。
- 1974 牛島巖「流木」,『日本読書新聞』第1786号(10月28日)。
- 1975 中村基衛「土方久功著『流木』に寄せて」,『未来』(第108号)。
- 1976 「サテワヌ島民話」,『毎日新聞』(1月19日)。
- 1976 「サテワヌ島民話」,『日本経済新聞』(2月2日)。
- 1977 鳥羽修郎「『サテワヌ島民話』をめぐって」,『翻訳の世界』(第5号)。
- 1986 松居直「前代未聞の絵本の誕生—土方久功の絵本—」(上)(下),『絵本のたのしみ』(11・12月号)。
- 1990 「民族学史に残る土方の著作集」,『日本経済新聞』(8月19日)。
- 1990 (省)「土方久功・著作集と伝記出版」,『読売新聞』(10月1日)。
- 1990 鳥羽修郎「書評『土方久功著作集』第1巻『パラオの社会と生活』」,『週間読書人』(11月12日)。
- 2002 おだまさのり「土方久功—こどもはみんな小さな民俗学者(そしてぎゃくもまた真なり)」,『美術手帖』(第828号)。

註)

この主要参考文献は、清水久夫編「土方久功主要参考文献」(『パラオ—ふたつの人生展』図録, 世田谷美術館, 2007年,), および清水久夫編「参考文献」(『土方久功展』図録, 世田谷美術館, 1991年)に掲載したものに, 加筆, 訂正したものである。その際, 「土方久功年譜 / 著作一覧」(『土方久功著作集』第8巻, 1993年) および『高知県立美術館 館蔵品目録5 土方久功 日本 + 南洋の表現』(高知県立美術館, 2001年)掲載の参考文献を参照した。

土方久功自筆文献のうち, 専門雑誌に発表した学術論文は一部省いた。なお, ミクロネシアの民

族学研究については、『Senri Ethnological Studies』 No.21 (1987) の巻末に、著書・論文一覧が付されているので、それを参照されたい。

文献のなかには、詳細な書誌データが不明なものがあるが、抜刷、日記の記載等により、掲載された事はほぼ間違いないので、そのタイトルのみ記した。詳細については、今後の課題としたい。